

TOSHIBA

2020年度 決算説明資料

東芝テック株式会社

2021年5月10日

目次

01 Key Messages

02 2020年度決算

03 2021年度業績見通し

01

Key Messages



Key Messages

2020年度下期は上期と比べ業績が大きく改善

売上高の増加・構造改革効果・徹底したコスト管理により営業利益は100億円を超える改善
(営業利益の増加及び改善額：リテールソリューション23億円、プリンティングソリューション79億円)

海外リテールソリューション事業が大幅に改善

固定費削減、高付加価値商品の販売増加等により営業利益が対前年で約75億円改善

事業構造改革

構造改革効果、コスト管理強化により海外事業の収益構造は改善。中長期の収益改善に向けての施策を継続検討

2020年度期末配当金は20円

2020年度の期末配当は業績の改善に伴い2019年度期末配当に対して10円増配。

02

2020年度決算



2020年度 業績

(単位：億円)

		2020年度 上期実績	2020年度 下期実績	2019年度 下期実績	差異 対下期
売上高		1,917	2,140	2,339	△199
営業利益		△9	92	38	+54
	(対売上高比率)	(-%)	(4.3%)	(1.6%)	
経常利益		△14	86	19	+67
	(対売上高比率)	(-%)	(4.0%)	(0.8%)	
親会社株主に帰属する当期純利益		△70	141	△42	+183
	(対売上高比率)	(-%)	(6.6%)	(-%)	
為替レート(円)	US\$	106.81	104.76	109.07	△4.31
	EUR	120.89	125.55	120.54	+5.01

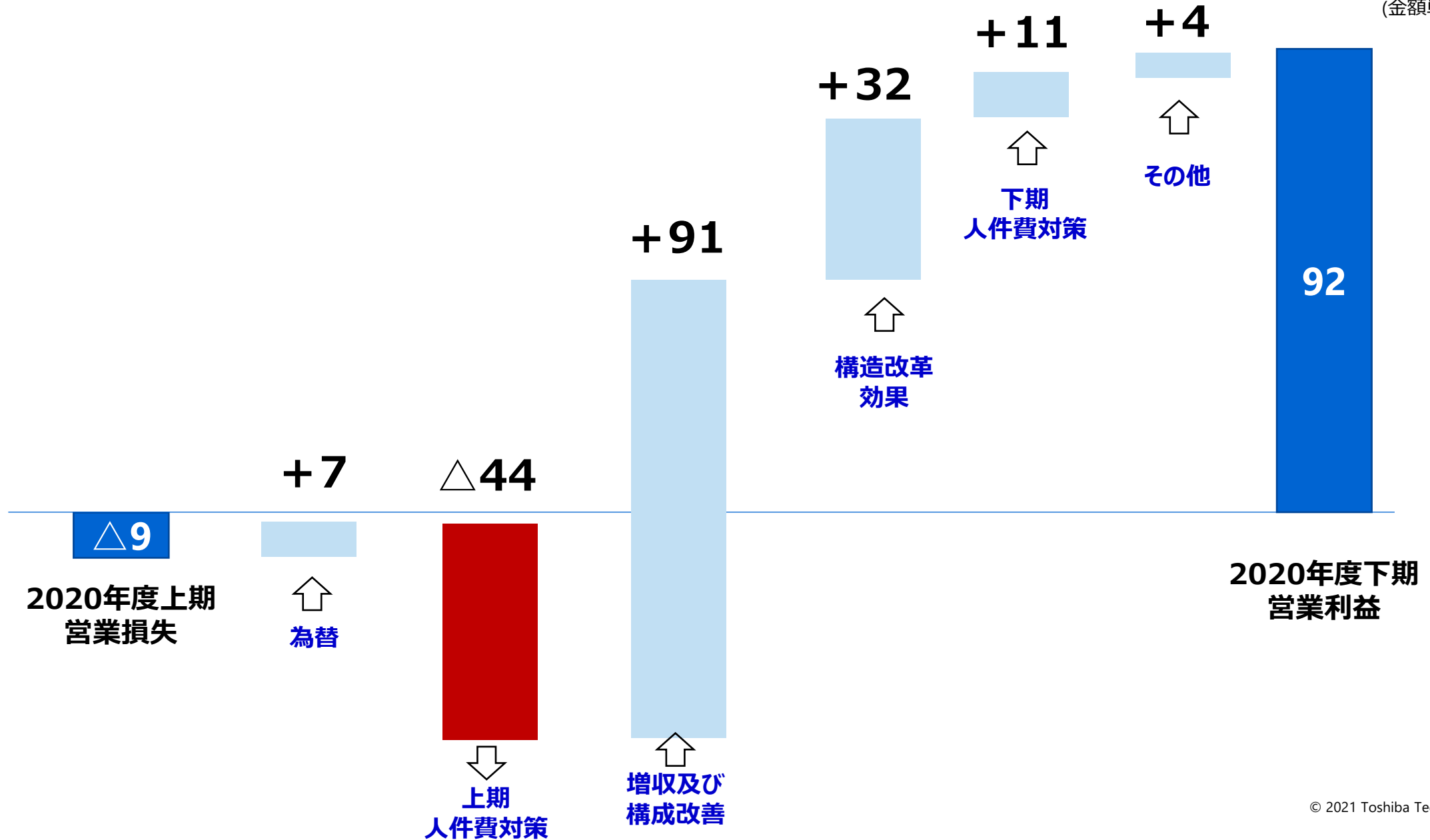
2020年度 業績

(単位：億円)

		2020年度	2020年度	2019年度	差異	
		実績	前回予想	実績	対計画	対前年度
売上高		4,057	4,000	4,838	+57	△781
営業利益	(対売上高比率)	83 (2.0%)	100 (2.5%)	140 (2.9%)	△17	△57
経常利益	(対売上高比率)	72 (1.8%)	70 (1.8%)	116 (2.4%)	+2	△44
親会社株主に帰属する当期純利益	(対売上高比率)	71 (1.8%)	5 (0.1%)	37 (0.8%)	+66	+34
為替レート(円)	US\$	105.79	105.98	109.13	△0.19	△3.34
	EUR	123.21	120.80	121.27	+2.41	+1.94

2020年度 営業利益の増減分析

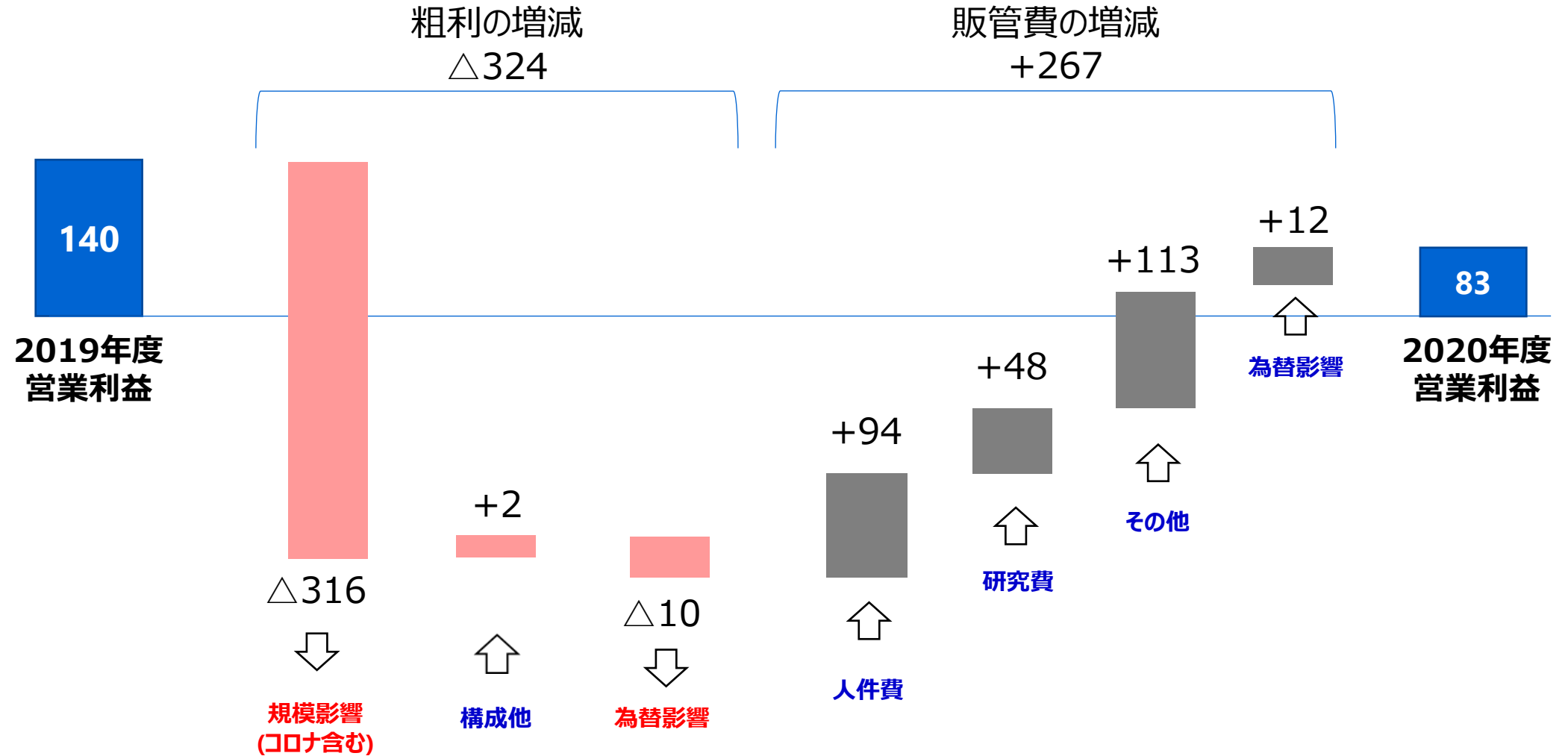
(金額単位：億円)



2020年度 営業利益の増減分析

(単位：億円)

※損益表示

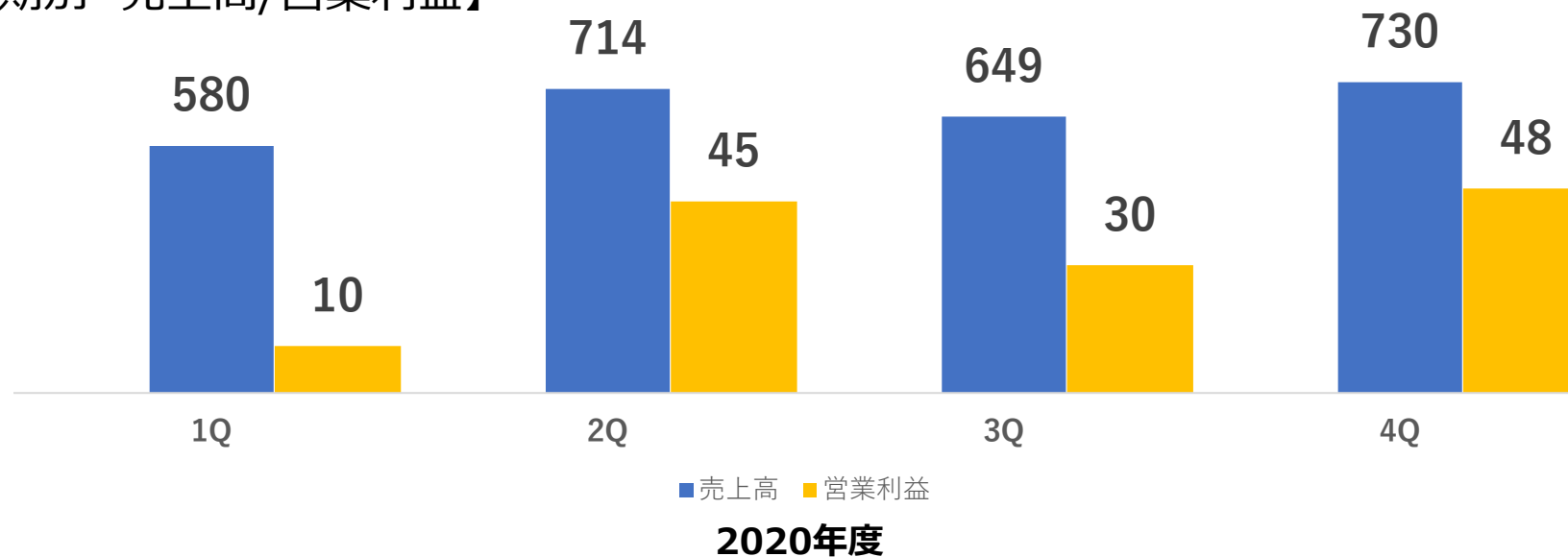


セグメント情報 2020年度業績

(単位：億円)

	2020年度 上期実績	2020年度 下期実績	2019年度 下期実績	差異 対下期
リテール ソリューション	売上高	1,294	1,379	△137
	営業利益 (対売上高比率)	55 (4.3%)	78 (5.6%)	+18 (3.9%)

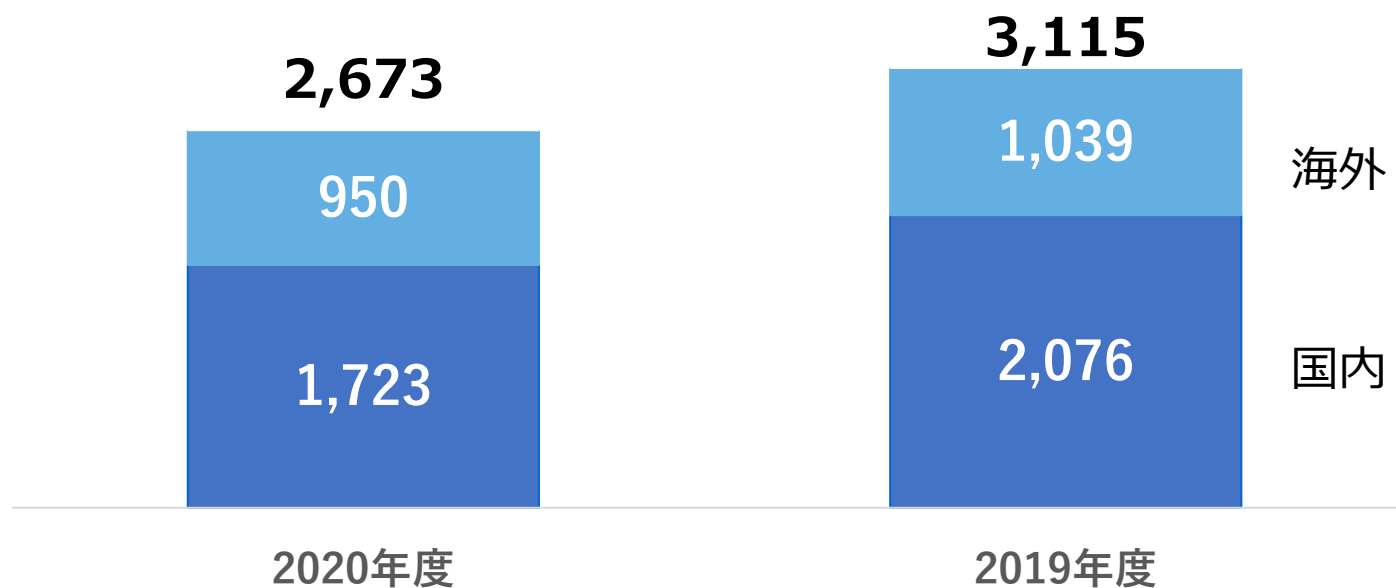
【四半期別 売上高/営業利益】



セグメント情報 2020年度業績

(単位：億円)

		2020年度 実績	2020年度 前回予想	2019年度 実績	差異 対前回予想	差異 対前年度
リテール ソリューション	売上高	2,673	2,650	3,115	+23	△442
	営業利益 (対売上高比率)	133 (5.0%)	130 (4.9%)	143 (4.6%)	+3	△10

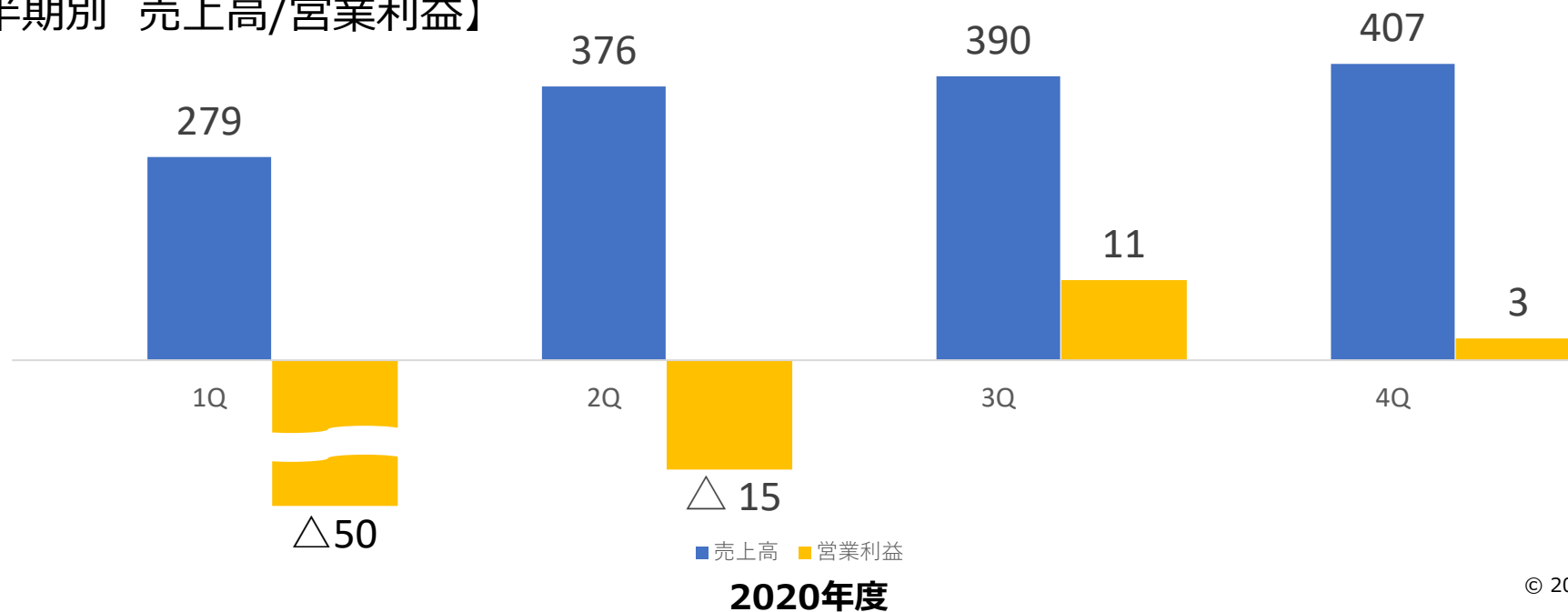


セグメント情報 2020年度業績

(単位：億円)

	2020年度 上期実績	2020年度 下期実績	2019年度 下期実績	差異 対下期
プリンティング ソリューション	売上高	655	797	△61
	営業利益 (対売上高比率)	△65 (-%)	14 (1.8%)	+35 (-%)

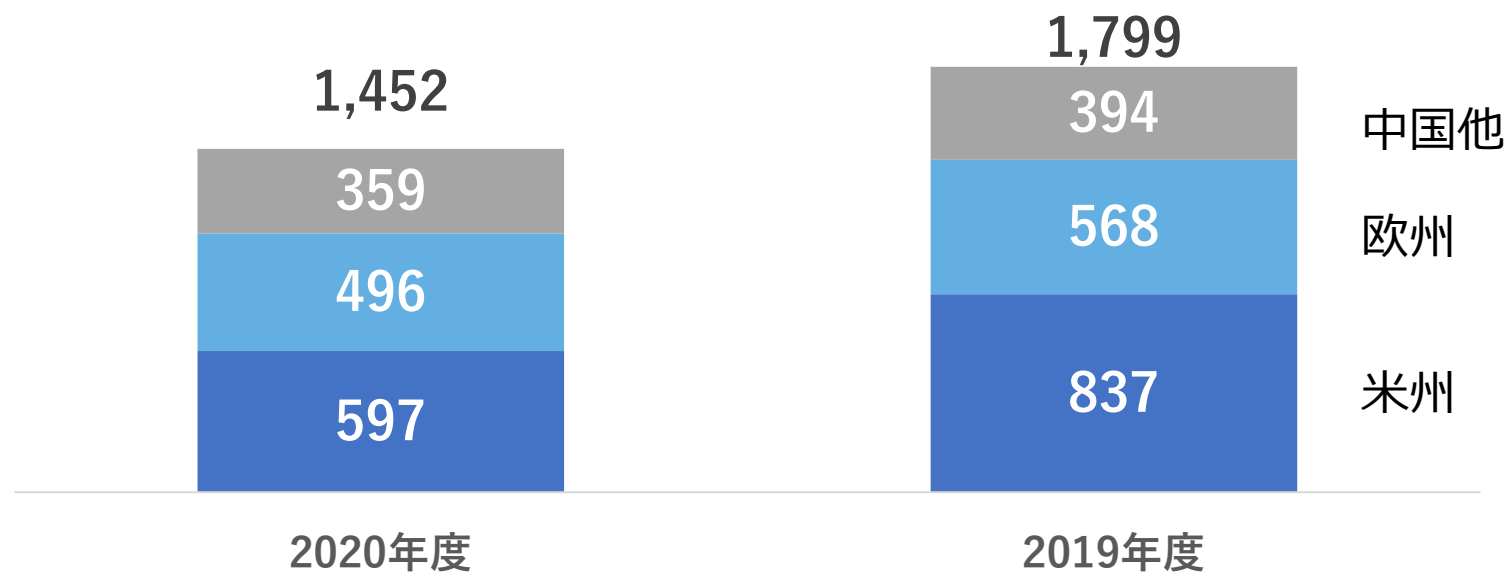
【四半期別 売上高/営業利益】



セグメント情報 2020年度業績

(単位：億円)

		2020年度	2020年度	2019年度	差異	
		実績	前回予想	実績	対前回予想	対前年度
プリンティング ソリューション	売上高	1,452	1,430	1,799	+22	△347
	営業利益 (対売上高比率)	△51 (-%)	△30 (-%)	△4 (-%)	△21	△47



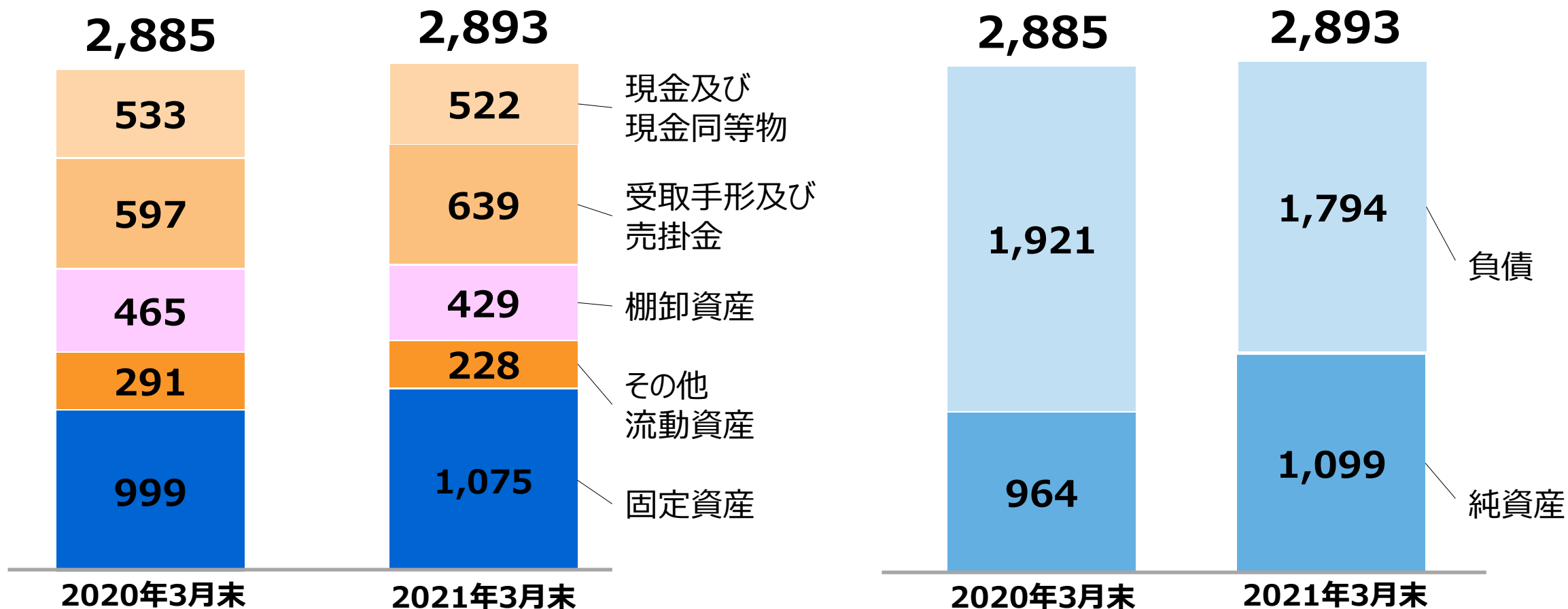
貸借対照表

下期業績の回復により純資産が増加

資産

負債及び純資産

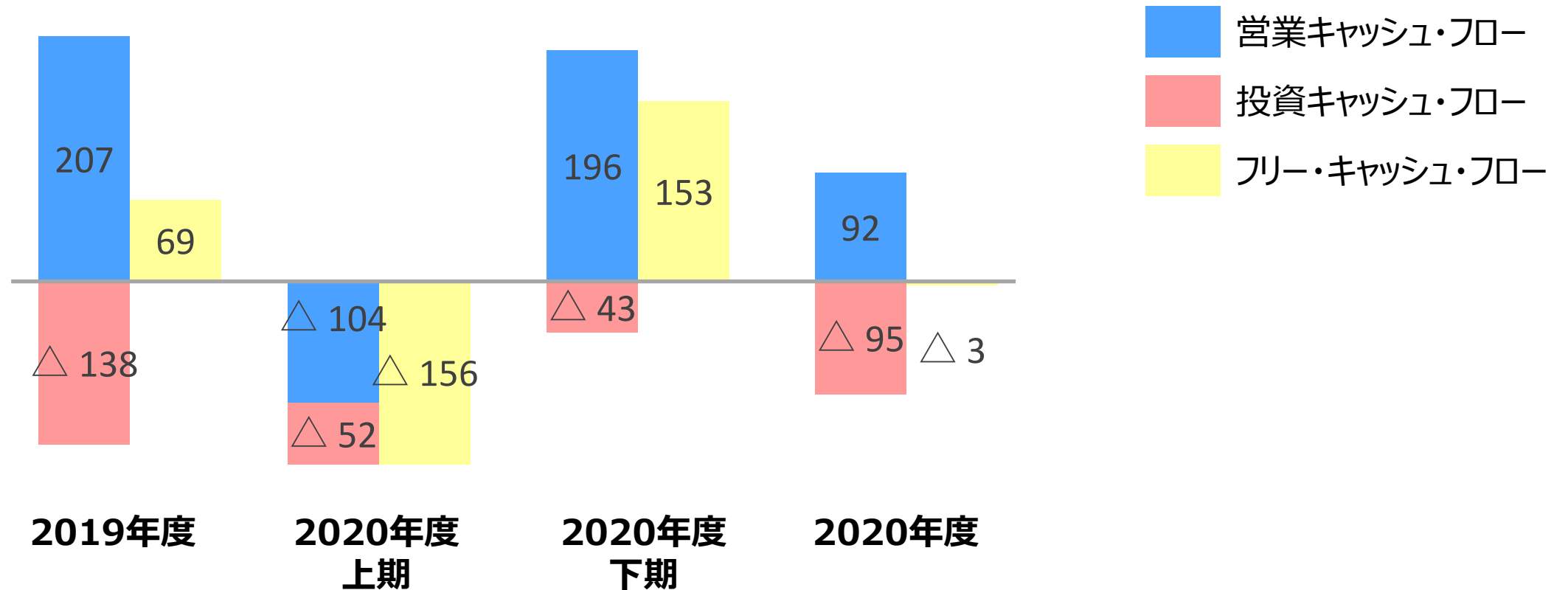
(単位：億円)



2020年度 キャッシュ・フロー

下期は営業キャッシュ・フローの改善に伴い、フリー・キャッシュ・フローも大幅改善

(単位：億円)



03

2021年度業績見通し



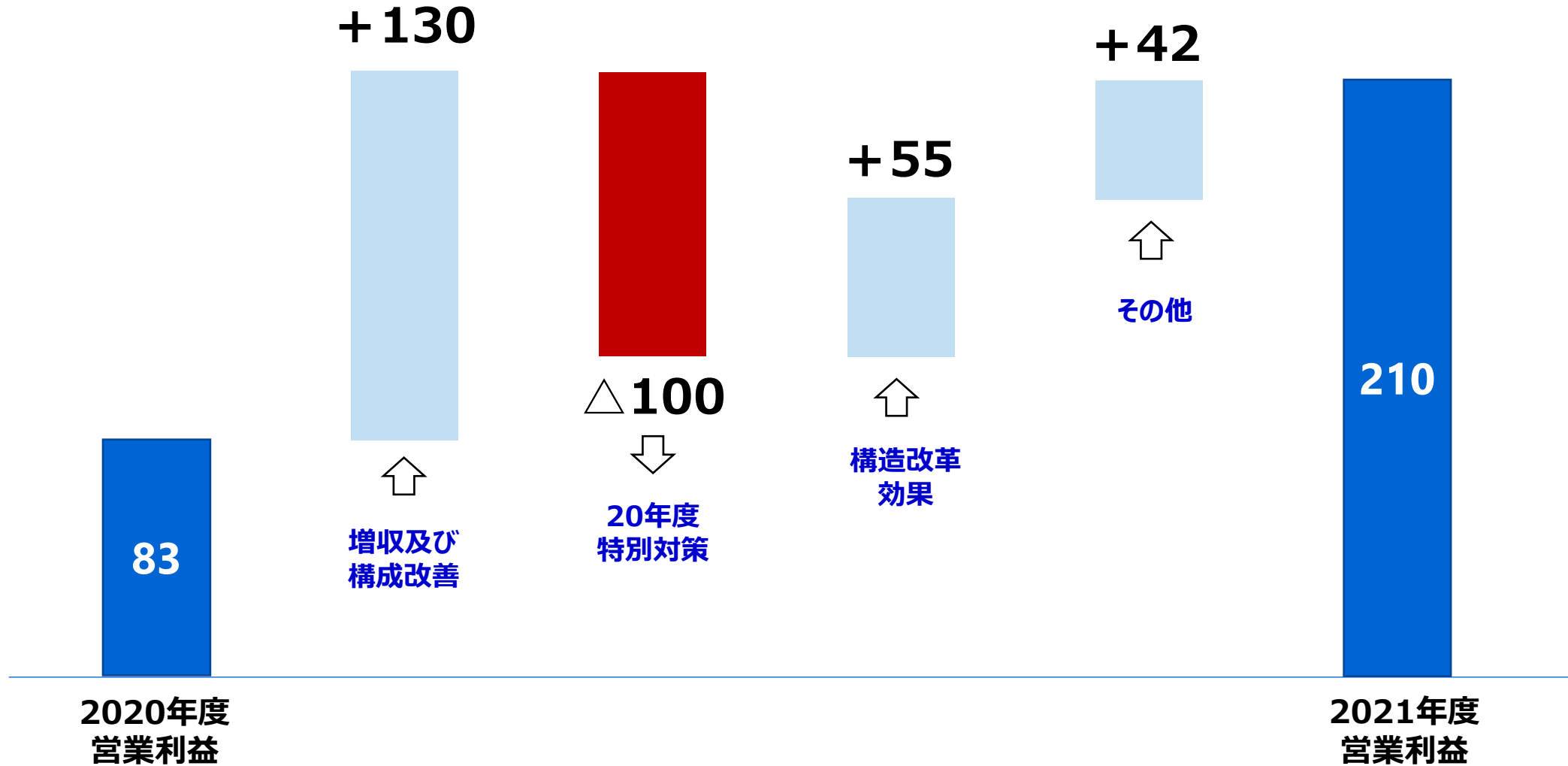
2021年度 業績見通し

(単位：億円)

		2021年度 見通し	2020年度 実績	差異 対前年度
売上高		4,200	4,057	+143
営業利益	(対売上高比率)	210 (5.0%)	83 (2.0%)	+127
経常利益	(対売上高比率)	180 (4.3%)	72 (1.8%)	+108
親会社株主に帰属する 当期純利益	(対売上高比率)	100 (2.4%)	71 (1.8%)	+29
為替レート(円)	US\$	105.00	105.79	△0.79
	EUR	120.00	123.21	△3.21

2021年度 営業利益の増減分析

(金額単位：億円)



セグメント情報 2021年度業績見通し

(単位：億円)

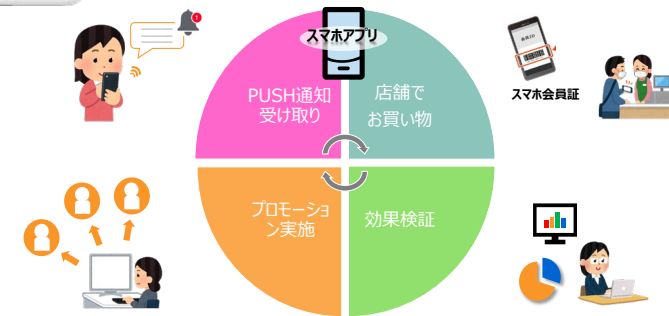
		2021年度 見通し	2020年度 * 2 実績	差異 対前年度
リテール ソリューション	売上高	2,550	2,485	+65
	営業利益 (対売上高比率)	165 (6.5%)	137 (5.5%)	+28
ワークプレイス ソリューション * 1	売上高	1,750	1,589	+161
	営業利益 (対売上高比率)	45 (2.6%)	△55 (-%)	+100

* 1 プリンティングソリューションは2021年度よりセグメント名称をワークプレイスソリューションへ変更しました。

* 2 2020年度までリテールソリューションに含めておりました国内市場向け複合機に関する事業を2021年度より「ワークプレイスソリューション事業」に移管しております。そのため、スライドの2020年度実績はセグメント組替後の数値で記載しております。

協業によるソリューション拡大

- 自社スマホアプリを手軽に導入できるショッピングセンター向け顧客システム連携ソリューション
- 専門店向けPOSシステムとLINE公式アカウント対応のCRMツール「COMSBI for Retail」との連携
- 東芝テックと日本ユニシスとの共同プロジェクト開始
- 食品流通業界が抱える社会課題の解決に向けて食品流通DX分野で三菱商事と協業に向けた検討を開始



Appendix

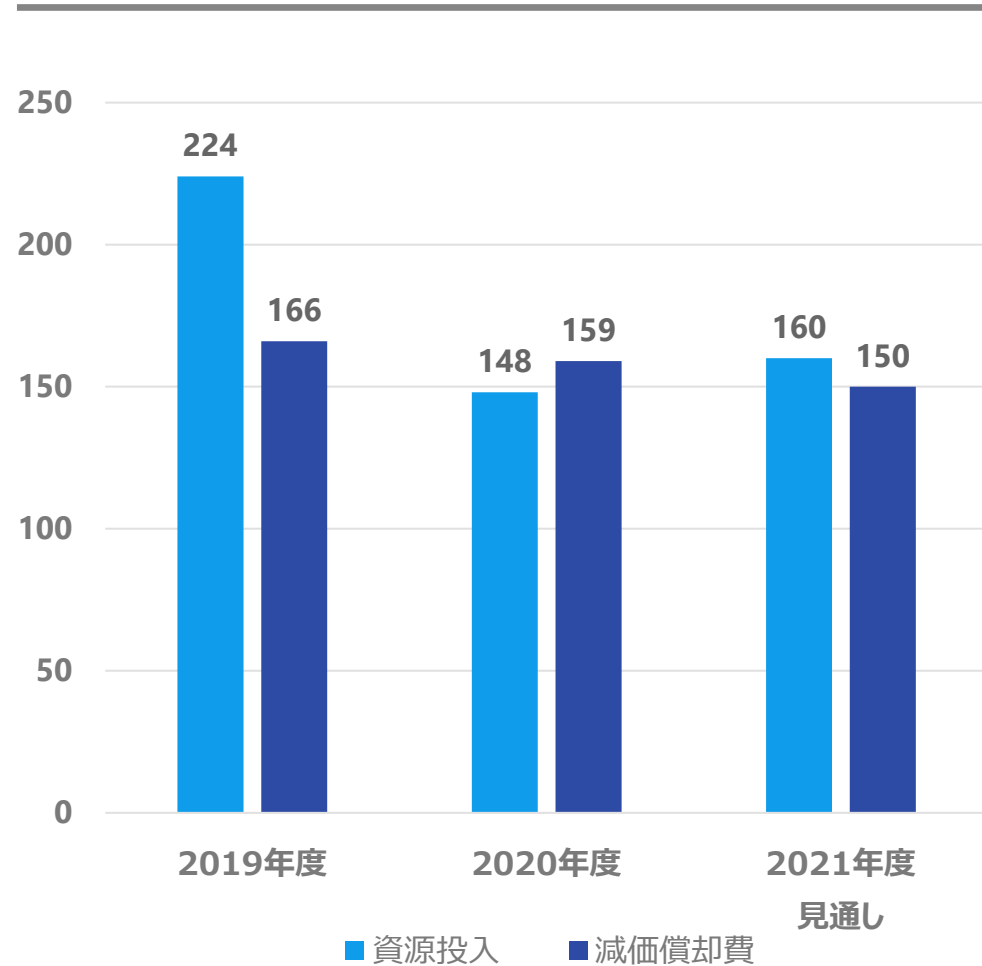
2021年度見通し 為替の影響

	前提為替レート	1円円安の場合の影響額	
	2021年度	売上高 (年間)	営業損益 (年間)
US\$	105円	+ 15億円	△2億円
EUR	120円	+4億円	+ 1億円

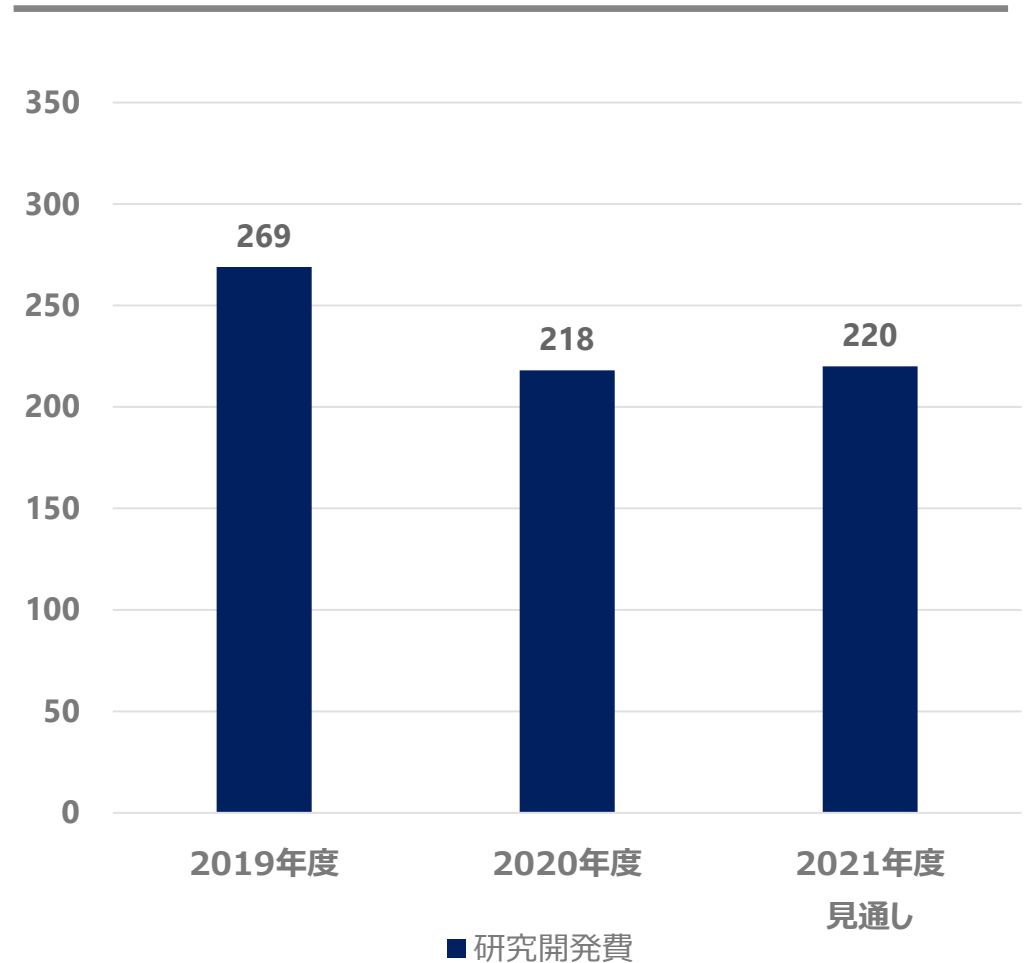
2021年度見通し 資源投入*・減価償却費 研究開発費

(単位：億円)

資源投入・減価償却費



研究開発費



*有形固定資産及び無形固定資産の増加額
(2019年度より在外子会社で新リース会計を適用している影響を含む)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

TOSHIBA

